



令和5年10月議会において

議員報酬削減条例を提出

否決
されました!

日本維新の会神戸市会議員団は、議員提出第5号議案「神戸市市会議員の議員報酬、費用弁償および期末手当に関する条例の一部を改正する条例」を提出いたしました。

自民党・公明党・こうべ未来(旧民主系)等
その他無所属議員により**反対多数で否決**
されてしまいました。今後も議員報酬削減を
訴えてまいります。



提案説明はこちら▶



反対
しました!

地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書

自民党・公明党・こうべ未来等その他無所属議員により「地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を求める意見書」が提案されました。

日本維新の会は**反対をしましたが**、賛成多数で可決されました。

法整備されると税負担が神戸市で年間**約7000万円!**

日本全体で**約200億円!** まずは**年金制度改革**を!



▲反対討論はこちら

	維新	自民	公明	共産	こうべ未来
報酬削減	○	×	×	○	×
厚生年金	×	○	○	×	○

所属議員5名以上の交渉会派のみ記載

代表質疑 (令和5年9月21日)

大井 としひろ議員



令和4年度決算と決算カードを通じた現状分析、今後の成長戦略について

大井 日本は人口減少社会に入り、今後の人口増は、見込めない状況であります。各都市の税収構造に様々な特色がある中で、今後、神戸市が税源の涵養を図るため、どのような成長戦略を考えておられるのか、市長のご見解を伺います。

久元市長▶ 神戸市の税収は、川崎市、福岡市、京都市と比較して個人市民税の伸び率が低く、法人市民税の伸び率はやや低い。個人市民税の納税義務者1人当たりの所得は西日本でもトップクラスだが、人口に占める納税義務者の割合が低いです。また、課税対象の企業が少ないです。税収を上げるためには、シニア世代と女性の就労割合を高めることが大事です。女性が働きやすい環境をつくり、企業誘致や新たな産業団地の整備、スタートアップに女性やシニア世代も参加することが重要です。

その他 遅々として進まない本市のガラスびんの再資源化について、児童虐待事案に関する対策について、空港の国際化と大阪・関西万博について質問をしました

川口 まさる議員



金利による財政への影響について

川口 令和4年度決算において、一般会計の歳入総額は9,417億円となり、11億円の実質黒字を確保したことが説明されています。税収は3,141億円となっています。他方で、世界的にインフレへの対応が課題となる中、金利上昇による今後の財政負担や大型投資への影響、見直しについて、所見はどうでしょうか。

今西副市長▶ 日本銀行は量的・質的金融緩和を継続してきたが、昨年12月と本年7月に金融政策を修正し、10年国債の金利である長期金利の上限の引上げを行いました。今後も景気動向や物価水準等に応じ、我が国の金融政策が修正される可能性は高く、不透明な金利情勢は続くものと認識をしています。一方、神戸市は阪神・淡路大震災以降、一般会計で1兆円の市債を発行し、その後、投資的経費の大幅な抑制により、市債残高の削減に努めた結果、臨時財政対策債を除く市債残高は過去最大の平成9年度に比べ1/3程度の水準まで減少してきています。また、高い金利の市債償還が済み、本市の利子負担は低下傾向にあります。今後の金利水準や投資の規模によっては、新規発行に係る金利負担が増える可能性はありますが、市場動向を注視し、適切なポートフォリオを組みながら、引き続き安定かつ低利な資金調達に努めてまいりたいと考えています。

総括質疑 (令和5年10月10日)

三木 しんじろう議員



教育委員会の機能強化・給食費無償化について

三木 「神戸市総合教育会議」は、市長と教育委員会が連携を図り、教育課題を解決し教育行政を改善するために設置されていますが、令和4年度は1回しか開催されませんでした。教育現場の課題解決には、市長と教育委員会の協力と議論など改善に向けて取り組む必要があり、「総合教育会議」をより積極的に開催すべきと考えますが見解を伺います。

長田教育長▶ 教育委員会にとって貴重な意見交換の場であり、その時々状況に応じて、重要なテーマについて市長部局と意見交換、調整をしながら、「総合教育会議」における議論が一層活性化するよう努めていきます。

三木 給食費の無償化については、保護者の経済的負担軽減の観点や大都市を含め無償化を実施している自治体もあるなか、まさに地方から国を動かさなければならないと考えています。令和6年度の公会計化のタイミングでの無償化、あるいは中学校給食の全員喫食後に中学校、さらには小学校の無償化と段階的に進められないでしょうか?

長田教育長▶ 給食費の無償化については、子育て支援施策全体の観点から、全市的に判断されるべきものであり、多額の財政負担が生じることから実施には課題が大きいものと考えています。国において検討が始まったところであり、引き続き国の動向を注視していきたい。

三木 現在、中学校給食は半額助成を神戸市独自で行っており、さらに踏み込んで進めていただきたい。

山本 のりかず

北区

農村ツーリズムについて

山本 農村ツーリズムは、農村地域の活性化において重要な取り組みです。神戸では、都心と農村地域が近接し、農村ツーリズムの展開に優位性があり、今後どのような取り組みを考えているのか確認します。



港湾局▶神戸市内の農村地域において、古民家カフェなどは規制緩和を活用した起業者の育成によって新たなコンテンツの造成がなされ、農泊、民泊の取り組みもされているところがございます。例えば農泊施設などを組み込んだ体験ツアーや周遊コースなどの商品の造成なども想定してございます。観光部門と連携しながら、引き続き発信の強化・魅力の強化を含めて、実施してまいりたいと考えてございます。

令和4年度決算特別委員会

局別審査

所属議員が各担当部局に分かれて
令和4年度決算について質疑しました。



建設局

高橋 としえ

西区

浸水対策について

高橋 神戸市は準用・普通河川を管理しています。災害対策、有害鳥獣被害対策を目的として経済観光局と連携の上、河川の浚渫頻度を上げるなどの取り組みが必要ではないでしょうか？



建設局▶有害鳥獣対策として効果がある箇所の把握に努めて、河川管理の一環として必要な浚渫や草刈りの対応を講じてまいりたい。

高橋 近年、線状降水帯やゲリラ豪雨の発生が増加しており、内水氾濫の対策の重要性が高まっています。地区別浸水対策の進捗はいかがでしょうか？

建設局▶浸水リスクが高い順に地区1、地区2、地区3と3つに分類して地区1から順に段階的な浸水解消をやっていくと目標を定めています。現在整備を行っている西区西河原地区、東灘区の国道43号周辺の地盤が低い地域については、継続して事業に取り組みます。

港湾局

黒田 武志

西区

神戸空港の国際化に向けて

黒田 2025年に国際化を迎える神戸空港については、空港機能の強化だけではなく、神戸ブランドの発信やにぎわい機能など、神戸の空の玄関口としてふさわしい魅力ある空港づくりが求められる。新ターミナルと共に、現行ターミナルについても、神戸空港の積極的な活用や神戸経済・神戸市民への還元について、関西エアポート神戸に対し、強く働きかけを行っていただきたい。



港湾局▶神戸空港のモニタリングを実施し、改善に向けた取り組みを現在、検討している。空港に行けばわくわく感や、特別感を感じていただけるよう空港の機能強化と合わせ、ブランドの発信や、にぎわい機能など魅力ある空港となるように関西エアポート神戸と連携しながら取り組みを進めてまいりたい。

文化スポーツ局

さとう まちこ

垂水区

神戸まつりについて

さとう 神戸まつりにおいて、2025年の大阪万博に向け、2024年を皮切りに、神戸まつりのパレードにコスプレイヤーを呼ぶなど、アニメ・コスプレという新しいジャンルを取り入れ、若者や海外の方を呼び寄せるきっかけとしてはどうでしょうか。滞在型の神戸まつりということで、初日は神戸まつりを楽しんでいただき、内閣府も推進しているアニメツーリズムができる企画を用意し、神戸市民も神戸の新しい魅力に気付ける発信をしていただくのはいかがでしょうか。



文化スポーツ局▶市民の方々が知る機会にもなるというのは同感。そのような広報面での連携をしていくのは、ありだと考えています。

要望 公民館の活用、オンラインマラソンの継続を提案しました。

行財政局

原 直樹

垂水区

市税収入確保について要望

原 財政運営において最も重要なことは税収確保であると考えます。神戸市民の皆様へ極力影響を与えないようにするため、現在検討されている法人市民税や個人市民税の均等割といった定額課税の増税はすべきではありません。代わりに、京都市で検討されている「非居住住宅利活用促進税」の導入を本市でも検討することを提案します。この税金は空き家や別荘などの居住者のいない住宅を対象としたものであり、居住している家屋には課税されません。空き家対策にもなる税金です。この導入により、京都市では年間約7億円ほどの税収の純増が見込まれると予想されております。神戸市民に極力影響が少ない税金の導入を検討していただくようお願いいたします。



福祉局

住本 かずのり

須磨区

KOBEシニア元気ポイントの更なる取り組み

住本 高齢者の外出機会の増加や社会参加の促進という点で「KOBEシニア元気ポイント」はフレイル予防に繋がる重要な取り組みです。現在の登録者数は2,046人であり、まだまだ少ない。登録者数や活動者数を増やすため、事業認知、活動場所や種類などの選択肢を増やすことが重要だと考えますが、今後の取り組み方針を伺います。



福祉局▶現在は庁内の連携-建設局、環境局、文化スポーツ局、区役所等-と又、民間とも連携しながら活動の場所、選択肢を増やして事業の魅力アップの取り組みを進めています。今後も登録者数を増やす努力をしていきたい。

建築住宅局

大井 としひろ

須磨区

市営住宅の高齢者の見守りについて

大井 令和4年度の市営住宅での独居死者数は137人とお聞きしましたが、その数の多さに驚いたところです。市営住宅は、高齢化率が5割を超え、単身高齢世帯率も4割を超えているとも聞いており、独居死を防止するには、高齢者の見守りが重要だと考えます。民生委員と指定管理者の協力・連携が必要と考えますがご見解を伺います。



建築住宅局▶高齢化が進む市営住宅におきましては、高齢者の見守りは非常に重要な課題であると考えております。今後も指定管理者がこれまでに築いたネットワークですとか、知識や経験を生かして、複合的な連携によって入居者の状況を把握して、入居者の状態の変化を早期把握できるように、ご指摘のとおり、福祉部局等とも連携を取って進めてまいりたいと考えております。

市政へのご意見・ご相談は
各区所属議員に
お問い合わせください。



お問い合わせは
こちら



教育委員会

岩谷 しげなり

兵庫区

神戸の教育ビジョンについて

岩谷

子育て世代に、神戸市がどのような方針の下、教育施策に取り組んでいるのかあまり伝わっていません。さいたま市の英語教育は、全国の中で群を抜いて成果が表れています。また芦屋市は、東大大学院と連携して教育改革を行っていきと発表し大きく注目されています。「神戸の教育はこれだ!」と言えるような、他の自治体に負けない誇れる魅力をブランディングしていく必要があると考えますが、見解を伺います。



教育委員会▶神戸市教育振興計画は、市民の皆様にとって、若干目指す方向が分かりにくいということになっている面もあるのではないかと考えています。他都市の事例も参考にしながら、神戸の教育が目指す方向性を分かりやすくお示しをし、市内外に発信できるようにしていきたい。

地域協働局

ながさわ 淳一

長田区

地域の担い手について要望

ながさわ

地域のつながりというのは、いざというときの地域の安全・安心にもつながりますし、安全・安心な地域というのは、まちの魅力アップにもつながります。近年、地域のつながりの希薄化が顕在化しつつある中で、改めて行政と地域が一緒になって、地域のつながりを育むことができる仕組みづくりを、これまで以上に力強く進めていただきたい。

お祭りは地域の絆や連帯感を高めることができ、準備や運営に関わることで、地域の人々はコミュニケーションを取り、信頼関係を築くことができます。地域のつながりが希薄になる中で、非常に有効だと考えますので、今後も支援のほどよろしくお願いたします。



都市局

川口 まさる

灘区

三宮の再整備について

川口

三宮の6つの駅は、改札が地下、地上、デッキの3層にそれぞれ分かれており、複雑な構造となっているせいか、駅と駅との距離が遠いように感じます。広場から地下鉄への通路が新設されることにより、さんちか内の動線は一定改善されると思いますが、再整備を機に6つの駅それぞれの間についてもよりスムーズに移動できるように考えてほしいと思います。



都市局▶JR新駅ビルと一体となるよう周辺の歩行者動線のネットワークを確保します。また、適切な場所にエレベーター・エスカレーターを整備しバリアフリー化も実現します。デッキもこれから工事を進めていきたいと思っています。官民連携でご指摘の乗換え動線の改善、よりスムーズに三宮駅周辺を回遊していただけるような動線の強化に、取り組みたいと思っています。

危機管理室

のまち 圭一

中央区

サイバーセキュリティについて

のまち

今年度はセキュリティー専門事業者により各システムネットワークの脆弱性の診断や共有のリスクガイドラインの作成などに取り組み、必要な対策を講じていくとのことだが、現在の対策の進捗状況について伺います。

危機管理室▶病院、水道、交通などの重要なインフラに対するサイバー攻撃対策が進行中、神大大学院教授にアドバイザー協力を受け、市民生活に高い影響を及ぼす10の重要システムを選定し、専門の業者に脆弱性評価を行っています。これに基づいて、重要インフラのリスク評価基準、BCP策定手順書、職員向け訓練計画などの作成が計画されており、各所管局室や外郭団体ではリスク評価を受け、システムの点検と必要な対策を講じる予定です。また必要に応じてBCPの改定も行う予定です。



こども家庭局

三木 しんじろう

中央区

子ども達目線の学童保育について

三木

神戸市では多くの児童館で学童保育が行われています。学童保育を学校内で行い、運動場や体育館も利用し、体を動かし伸び伸びと実施していただきたいが今後の展開は?

こども家庭局▶ご指摘のとおり、学校内で実施することは移動がなく安全であり、運動場、体育館等、学校施設が利用できるメリットがある、学校施設の利用を進めていきたいと考えています。

三木

保護者のニーズ・地域のニーズに合わせ、分かりやすく保護者へ周知を行い、教育委員会と更なる連携をしていただきたいが見解を伺います。

こども家庭局▶それぞれの事業や利用している子ども達の声などを届けるよう周知に努め、教育委員会としっかりと連携し、放課後が子ども達にとって豊かな時間になるように、しっかりと取り組んでいきたい。



交通局

外海 開三

東灘区

市バスの運行について

外海

市バス事業はコロナによる利用者数の減少や、今後も少子化により減少傾向にあることや、燃料費等の所要経費高騰の影響を大きく受けるなど、極めて深刻な状況であり減便や廃止も決定している。交通局の厳しい経営状況、とりわけ市バス会計は危機的状況にあり、利用者数に応じたダイヤ編成を行い更なる効率化を図るべきです。

交通局▶ご指摘のとおりであり、我々は今2タッチデータを日々積み重ねています。日々の利用状況を見ながら、お客様の声、あるいは地域からの要望というものを勘案し、必要であればダイヤを変更することも含めて、もっと効率的に、より便利に利用いただけるような運営に取り組んでまいります。



健康局

なんの ゆうこ

東灘区

女性のがん検診の受診率向上について

なんの

現在、労働人口の約4割を女性が占めており、企業における健康支援や健康管理の視点から、女性特有のがん検診の実施は重要ではないか。神戸市はどのような取り組みを行っているのでしょうか?

健康局▶職域でのがん検診の取り組みについて対策が必要です。がん検診の普及啓発に積極的に取り組む企業や団体と、受診促進協定を締結しており、従業員に対するがん検診の受診勧奨や、リーフレットの配付等、受診を促す取り組みを積極的に進めよう働きかけています。

女性がセルフケアを行いつつ仕事に向き合える体制が必要です。神戸市としても職域における女性の健康支援について、企業と連携を図り取り組んでまいります。



要望18件を
付して

令和4年度決算を認定しました。



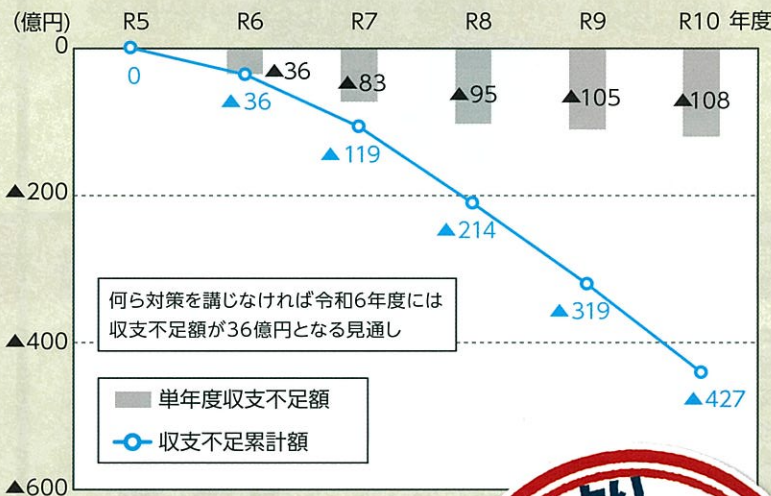
要望事項はこちら▶

要望を
行いました

主要
要望の
論点

- 業務効率化**について
ICTの活用とDXの推進、サイバーセキュリティ対策を強化
- 子育て支援**について
妊産婦への支援充実とプッシュ型広報活動を強化
- 児童虐待対策**について
対策を強化し、情報共有システムを兵庫県と連携して検討
- 神戸空港国際化**について
神戸空港の成長に向け取り組みを強化
- 路上喫煙対策**について
市内全域を路上喫煙禁止地区に指定し、喫煙対策を強化
- 市行政委員報酬**について
勤務状況に合わせた日額制に改定する
- 公立大学無償化**について
無償化の影響を分析し、公立大学の施策を検討
- 大阪・関西万博**について
ゴールデンルート活用で神戸の魅力発信・プロモーション

認定理由 令和4年度神戸市決算では、約11億円の実質収支黒字を確保しました。今後は持続可能な神戸経済の成長・市民生活の向上に寄与する行財政改革を強く推し進めることを期待し認定しました。



今後の収支不足額の推移について
(令和5年2月公表)



財政の健全性を保ちつつ、市民の安心・安全な暮らしを守り
神戸が将来にわたり持続的な発展を遂げ、まちの魅力を高めていくよう、
日本維新の会神戸市会議員団はさらなる行財政改革を訴えてまいります。

一般質問 (令和5年10月24日)

住本 かずのり議員



再犯防止施策-保護司のなり手不足について

住本 犯罪や非行を行った方に対し、社会復帰するための援護を行う保護司は、再犯を防止し、安全・安心なまちづくりを行うにあたり、非常に重要な役割を果たしていると考えます。本市では「再犯防止コーディネーター」を配置し、再発防止のための取り組みを行っており、今後、保護司との連携も重要になってくると考えます。しかし、保護司の担い手不足が深刻であることから、国の方からも行政職員に対して保護司への協力依頼が出ています。市としてのなり手不足解消の取り組みを伺います。

久元市長▶ 保護司の皆さまとともに意見交換する機会がよくあり、特に求められたのが活動拠点を用意して欲しいという事で、活動支援補助制度をしていますが、十分でなければ更なる対策も考えたい。また、定年を迎えた職員向けにも保護司活動に関する案内も出しています。今後もより充実した案内・勧誘ができないか積極的に取り組んでまいります。

さとう まちこ議員



不登校特例校について

さとう 不登校の児童・生徒は全国的に増加傾向であり、本市においても、令和3年度は2,974名、令和4年度は4,104名と、大きく増加し続けているにもかかわらず、再来年設置される(中学校)不登校特例校は1校のみ、受け入れられる生徒が40~50人では受皿が全く足りない。今後の取り組みや、さらなる環境整備について伺います。

長田教育長▶ 1校のみの設置で十分とは考えていませんが、1校目の運営状況や効果をよく把握した上で、設置拡大に向けて取り組んでいきたい。

さとう 他都市で実施されている(小学校での)イエナプラン教育も有効。一斉授業だけではなく児童・生徒が自分のスピードで学び、自主性を育むことができるだけでなく、教職を離れた教員の方々を含め、多様な教員の受入れにもつながると考えます。全区に展開を。多種多様な教育を実行できる不登校特例校を全国的に後発となる神戸市はせめて5つ(5校分)ぐらいのアイデアを同時進行させるぐらいの努力と覚悟を持って早急に進めるべきです。

その他

リカレント教育の観点からオンラインで大学講義を無料公開に、天候に左右されないサンボチカを幼児が歩いて楽しい道に、神戸市も県と連携し舞子エリアの活性化、花火の実現などを提案しました。



令和5年分/

20,096,372円

を
石川県(令和5年7月大雨災害義援金)、

福島県(令和5年台風第13号災害義援金)に寄付しました!!



寄付の状況はこちら

徹底した行政改革を目指し、まずは、政治家自らが

身を切る!

身を切る改革は、日本維新の会神戸市会議員団が市民に約束した最重要事項です。公約である議員報酬2割削減の実現に向けて、引き続き率先垂範してまいります。

すみもと

住本かずのり

ヤル気、元気、本気! すますみ便り



第3回定例会市会(一般質問)より▲

すべては**身を切る改革**から! 令和5年第3回定例会市会(10月議会)では、下記の議員提出議案が議論されましたのでお知らせします。

その1 神戸市会議員の報酬の減額議案提出 → 否決されました

本議会で私たちの会派は、下記理由で第5号議案(※1)を提出しましたが、**反対多数で否決**されてしまいました。

提案理由 少子高齢化の進展で社会保障費の増加により、今後、一層厳しい行政運営が求められます。人口減少対策や、教育・子育て・医療・福祉施策など市民サービスの充実を図るためには、横浜市に次いで2番目に高額である議員報酬を削減して覚悟を示し、行財政改革を推進すべきと考えます。

※1 議員提出議案第5号 「神戸市会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例の件」(議長、各委員会委員長、議員報酬を約10万円程度減額するもの)

その2 地方議員の厚生年金加入の意見書提出には 反対しました

自民・公明・こうべ未来各会派等から地方議員なり手不足解消等のため、「地方議員の厚生年金加入の法整備を求める意見書」を国に提出する第6号議案(※2)が提出されましたが、私たちは下記理由により反対いたしました。

反対理由 今回の地方議員の厚生年金加入が認められれば、大変厳しい自治体財政に新たな税負担を生じさせることになり、その額は神戸市会では毎年約7000万円以上、日本全国では約200億円以上にも上ると試算されています。まずもって優先されるのは、急激なエネルギーや物価高騰により、国民生活や企業活動に大きな影響のある対策であり、地方議会議員の厚生年金加入ではないはずです。

※2 議員提出議案第6号 「地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を求める意見書提出の件」

各会派賛否一覧

(所属議員5名以上の交渉会派のみ掲載)

	維新	自民	公明	共産	こうべ未来
第5号議案	○	×	×	○	×
第6号議案	×	○	○	×	○

議員報酬手取り相当額2割程度を全国の被災地等へ寄付を続けています。

寄付状況 令和5年のご報告 右記災害義援金に寄付しました

- 福島県 令和5年台風第13号災害義援金 495,540円
- 石川県 令和5年7月大雨災害義援金 1,000,000円

※公職選挙法上、神戸市内の寄付は禁止されています。

須磨区TOPICS

西須磨コミュニティバスが本格運行開始へ

地域コミュニティ交通※3として、西須磨地域のコミュニティバス「はまちどり」が10月1日より本格運行を始めました。

西須磨地域では坂が多く、道幅が狭いため、路線バスが運行していないことから、高齢者等が買い物・通院や最寄りの須磨駅とのアクセスが課題となっていました。令和5年1月より、試験運行を始め、一定の利用者が見込まれることよりこの度本格運行の運びとなりました。

定員は6名で、JR須磨駅と山陽電鉄月見山駅を結ぶルートと、須磨駅と一の谷を回るルートがあります。

※3 地域コミュニティ交通

既存の路線バスでは対応できないきめ細やかなニーズに対応し、地域の実情に応じた生活の足を担う公共交通として、地域(組織)・運行事業者・神戸市がそれぞれの役割及び責務を定めた覚書締結し、互いに連携・協力しながら運行するバスのことです。私も地域の方々と取り組んでまいりました。

詳しくは▼



コミュニティバス「はまちどり」▲

須磨海浜公園西側エリアリニューアル先行オープン

再整備(PFI事業※4)が進む須磨海浜公園エリアで、公園西側エリアが先行オープンしました。にぎわい施設「松の杜ヴィレッジ」では①コーヒESHOP ②ベーカリーカフェ ③スポーツ用品販売・スポーツ教室 ④シーフードレストラン ⑤カフェ&BBQ の年間通じて楽しめる5店舗がオープンしました。また、芝生エリア、バスケットコート、子どもたちが楽しめる大型複合遊具や防災設備が設置されました。



松の杜ヴィレッジ▼▲



神戸須磨シーサイドホテル(建設中)▲

来年の6月には新しい水族園『神戸須磨シーワールド』と『神戸須磨シーワールドホテル』がグランドオープンする予定です。

※4 PFI事業 公共サービス事業において、従来のように行政が直接施設整備をせずに民間資金やノウハウ等を利用して、民間に施設整備と公共サービスの提供をゆだねる手法です。これによって整備の税負担が削減されます。私自身、従来からこの手法を取り入れるべきと訴えてまいりました。

詳しくは▼



令和5年11月19日

第11回 神戸マラソン2023が開催されました



「感謝と友情」を大会テーマとして神戸マラソンが今年も開催されました。

キャッチフレーズは『「ありがとう」を、この街と。』

私も応募し、抽選に当選しましたので出走いたしました。

コロナ禍も5類になり、沿道の多くの市民の方の応援をいただき完走することができました。約2万人のランナーが震災後28年経ち復興を遂げて新たなステージへと進む神戸の街を駆け抜けました。



身を切る改革 実行中!

令和4年度 決算特別委員会【福祉局】質疑 令和5年9月28日

「KOBESINIA元気ポイント」※5の更なる発展について

住本 質疑 高齢者の外出機会の増加や社会参加の促進という点では、KOBESINIA元気ポイントはフレイル予防につながる取り組みだと思うのだが、令和5年8月末の登録者は2046人であり、目標数の半分程度である。実際の活動者数を増やすための事業認知・活動場所の種類等の選択肢を増やすことが重要であると考えて今後の取り組みについては、

若杉 副局長

コロナ禍の最中（令和2年10月）のスタートで、施設活動ができない中でイベント（神戸マラソンやコロナワクチン接種会場での誘導整理）等も活動対象にしていき拡大してきた状況である。現在は、庁内連携ということで、環境局、文化スポーツ局、区役所等と連携を進めている。また、民間とも連携しており、神戸電鉄と神鉄ハイキングの参加者受付、コース内の案内誘導もしてもらっている。今後は、公園内清掃活動ボランティア団体と連携していくことができないか建設局とも検討を始めている。活動の場所、選択肢を増やして事業の魅力アップの取組を進めている。今後も登録者数を増やす努力をしていきたい。

住本 要望

高齢者も得意や不得意、やりたいことやたくないこと、やってみたいこと、これだったらできるなど、いろいろあると考える。これまでの仕事の経験を生かすことができるなど、高齢者の選択肢の幅を広げることで社会参画の機会を作っていくことが重要だと思っているので、引き続き他局連携の取組をお願いしたい。



地域の方々と共に名谷公園清掃▲

※5 KOBESINIA元気ポイントとは、神戸市内にお住まいの65歳以上の方が、特別養護老人ホームやデイサービスセンターなどの介護保険施設・事業所や認定こども園・保育所（私立に限る）・児童館などの子ども施設で対象となる活動を行った場合に、ポイントを貯めることができ、貯まったポイントは現金と交換できる制度。

1 狭あい道路解消の取組みについて

住本 質問 安全・安心なまちづくりを進める上で、狭あい道路（道幅4メートル未満の道路）の解消は非常に重要である。他都市では、道路幅を確保するためのセットバック支援として、測量や登記等に対する補助を行っているが、本市の取り組みは他都市に比較して非常に遅れている。道幅が狭いため、緊急車両や介護車両が入れず困っているという切実な声も聞いているが、防災の観点からも対策は急務であるが、遅れている道路行政についてどう取り組むのか。

今西 副市長

狭あい道路は車両の円滑な相互通行に支障があるだけでなく、住宅密集地域では緊急車両の通行、災害時の避難路、日照や通風等の確保など、様々な課題がある。ただ、既に沿道に住宅が建ち並んでいる地域では、直ちに道路の拡幅を行うことは現実的に困難なことから、建て替え時を捉えて道路拡幅工事を支援している状況である。

具体的には、沿道建物の建て替えに際し、セットバックした公道の後退敷地について、個人から寄付を受け付け、本市が所有権移転登記や舗装整備をすることにより、公道として一体的な管理を行っている。それ以外にも密集市街地重点地域を定めて、狭あい道路の改善に努めてきた。今後も、道路、住宅、まちづくりの行政の関わる関連部局が連携をしながら狭あい道路解消に努めたい。

住本 要望

神戸市以外の阪神間の他都市には、狭あい道路解消のため、寄付以外にも、セットバック部分の測量費補助、後退敷地の買取、後退部分の塀、壁等の撤去費用補助、また所有権移転せずに使用貸借等で管理は行政が行うなど様々な解消補助メニューが用意されている。また、セットバック後に塀などを設置する違法建築の指導も本市は甘く、過去3年間で報告を受けただけでも72件もある（実際はもっとあると推測される）。空き地、空き家問題も狭あい道路が関係している所もあり、住み良いまちづくりには、狭あい道路解消は喫緊の課題である。補助メニュー拡大、指導強化を求めたい。



一般質問（令和5年10月24日）▲

2 探究学習の指導のあり方について

住本 質問 学習指導要領が新しくなり、小・中・高校での探究学習が取り入れられている。しかし、学校や地域、教員によってその取り組み状況のばらつきがあると聞いている。変化の激しい社会の対応に探究的な見方・考え方を働かせ、より良く課題解決をしていく力を養成するためにも探究学習は今後重要な時間であると考えているが、本市においてどのように位置づけ実行していくのか。

長田 教育長

本市においては主に総合的な学習時間において、この探究的な学びに取り組んでいる。各教科の学習とは違い、地域や学校ごとの実態に合わせたテーマで学習している。例えば、福祉や防災、環境といった生活に即した身近なテーマを設定して、児童・生徒が自ら課題を見つけ解決に向けて取り組んでいる。これから社会を生き抜く力を育てる大切な学習であると考えて、すべての学校において、社会変化に即して子どもたちが主体的に学ぶことができるように引き続き取り組んでいきたい。

住本 要望

課題は教員の準備など負担が大きく、教員自身が探究学習を受けていない世代なので、どう指導していいかわからないなどがある。各学校での取組事例をモデルプランとして提示するなど、教員の負担軽減も図り充実を図って欲しい。また、兵庫県では探究学習の更なる発展版でもある独自の教育システム「兵庫県立STEAM教育 ※6」を構築し県立高校で展開するとのことである。神戸市教委もそれらに対応できるように、しっかりと対応願いたい。

※6：STEAM教育とは、データサイエンスに基づく課題分析や、AI・IoT等の新たな価値を創造する人材の育成に向けた教科横断的な学習のことであり、文部科学省より推進されている。Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(ものづくり)、Mathematics(数学)の頭文字をとったもの。



市民の皆さまからのご意見・ご感想をお待ちしております

市政相談
受付中!

公式 <http://www.k-sumi.jp>
Mail suma@k-sumi.jp

住本かずのり
Facebook

住本かずのり



発行

日本維新の会 神戸市議員団
〒650-8570
神戸市中央区加納町6丁目
5番1号1号館29階
TEL: 078-322-0185
FAX: 078-322-0184

神戸市須磨区支部

〒654-0051
神戸市須磨区月見山本町
2丁目6番15号
TEL: 078-735-8231
FAX: 078-735-8231

神戸に活力!! 北区に全力!!

日本維新の会
神戸市政報告 2023.12

山本のりかず 通信 Vol.12

発行元：日本維新の会 神戸市議員団
〒650-8570
神戸市中央区加納町6-5-1 1号館29階
TEL：078-322-0185
FAX：078-322-0184
E-mail：info@kobe-ishin.jp
https://kobe-ishin.jp



変革を恐れずにチャレンジしていく神戸へ!

- 提案1 神戸経済の活性化と民間活力の導入 **実現中**
- 提案2 議員報酬・議員定数削減と政務活動費の情報公開を徹底 **実現** (議員報酬は未実現)
- 提案3 子育て世代への支援と教育の充実 **実現中**
- 提案4 地域包括ケアシステムの構築と高齢者・障がい者福祉の充実 **実現中**
- 提案5 兵庫県と神戸市の二重行政解消 **実現中**

PROFILE

山本のりかず (神戸市北区出身)
■神戸市立鈴蘭台北町保育園～神戸市立山田小学校～私立甲南中高等学校～国立滋賀大学経済学部卒～民間企業～日本維新の会職員～神戸市議員3期目(神戸市会にて経済港湾委員長)
■一般社団法人代表
■関西学院大学アントレプレナーシップ課程修了
■家族構成：妻、子ども2人



令和5年12月 一般質問

●子育て支援について●

神戸市北区の本区エリアで出産可能な産婦人科の誘致を提案!

【山本のりかず議員】

神戸市北区の本区エリアでは、出産が可能な産婦人科がないと伺っている。「子育てしやすいまち」として、“出産することのできる場がない区域”があるという現状を改善すべきではないか。考えをお聞かせいただきたい。



【当局答弁】

北区には出産可能な医療機関が4ヶ所あるが、本区エリアには出産可能な医療機関がない状況である。この傾向については、少子化の進展や医師確保が困難であること、産科小児科領域においては神戸市に限らず全国的な課題となっている。神戸市では、済生会兵庫県病院に対して支援制度を創設し、北区本区を含めた広いエリアでの周産期医療の提供体制に維持確保に努めている。国に対し、分娩取り扱い手当等の拡充や子育て世帯医師の働きやすい職場環境の整備などの対策強化を引き続き要望を行っていると考えている。

【山本のりかず議員】

関係機関とも協力しながら、北区の本区エリアで安心して出産できる環境整備に取り組んでいただきたい。

神戸市内における公園において、大型遊具の設置拡充を提案!

【山本のりかず議員】

2023年1月に小野市の「ひまわりの丘公園」に新たな大型遊具が設置され、非常に好評であると伺っている。子育て世帯にとってさらに魅力的な都市とするために、しあわせの村などに新たな大型遊具を設置してはどうか。考えをお聞かせいただきたい。



【当局答弁】

しあわせの村トリム園地について、斜面を利用した岩遊具や大型滑り台などの大型遊具、ふわふわドームやインクルーシブ遊具などを整備した。身近な公園では、すずらん公園やポートアイランド南公園に大型遊具複合遊具、湊川公園にふわふわドームなどを整備し、子育て世代を中心に多くの方々に利用いただいている。引き続き、子どもたちがわくわくするような遊具整備を進め、子育て世代にとって魅力的な公園作りとなるように取り組んでいきたい。

【山本のりかず議員】

ポートアイランド南公園内において、令和5年度10月に大型・小型複合遊具が設置された。子どもたちが屋外で「のびのび」と遊ぶことは、基礎体力の向上や心身の発達にとって非常に良いことであり、当該取り組みは大変評価している。子どもたちが健全な大人へと成長していくためにも、屋外で遊べる遊具の設置拡充に取り組んでいただきたい。また、ポートアイランド南公園内の遊具広場については、子育て世帯への広報を積極的に展開していただきたい。

●神戸経済の活性化について●

ベトナムの空港との国際定期便を提案!

【山本のりかず議員】

2023年11月に、ベトナム議員連盟の一員として民間企業や当局とベトナムを視察したが、神戸空港の国際化を見据えれば関西の3空港と棲み分けが重要であり、関空は長距離路線、伊丹は国内路線、神戸は東アジア、東南アジア諸国への路線で、関西空港と重複しない就航先が望ましいと考える。例えば、神戸空港の将来就航先として、世界遺産があるハロン湾近くのバンドン国際空港のような空港がいいのではないかと。まずは2025年の国際チャーター便の運用を成功させることが肝要であり、議員や県・市のネットワーク等を活用していくべきと考えるが、今後の取り組みについて確認したい。

【当局答弁】

国際チャーター便の誘致について、指摘のあったバンドン国際空港のように関西空港から就航していない都市も含め、各国の観光ニーズなどに応じたプロモーションとともにビジネス機会も含めた新たな需要創出が重要であると考えている。2025年における国際チャーター便の就航、そしてその先の国際定期便の実現に向けて神戸観光局やひょうご観光本部、神戸商工会議所をはじめとする経済界との連携を一層強化するとともに、市会での意見も踏まえながら、誘致活動を展開していきたいと考えている。

【山本のりかず議員】

現在、米中摩擦のリスクが高まる中、民間企業においても東アジアや東南アジアに製造拠点をシフトする企業が増えていることを踏まえると、当該地域における神戸独自の就航先確保に向けて、大きな視野を持って官民連携で取り組んでいくことを要望したい。



【山本のりかず議員】

会派や委員会での視察で北海道の千歳空港や名古屋のセントレア空港を視察したが、温泉施設や映画館があり、非日常を感じることができる空間づくりとなっている。神戸空港のデザインは機能的ではあるが、素通りする施設になっており、わざわざ空港に訪れたいと思わせる工夫が必要ではないか。例えば有馬温泉の足湯や、神戸限定品を景品としたカプセルトイレの設置など神戸独自のコンテンツを味わうような魅力ある神戸空港にしていく必要があると考えるが、当局の考えをお聞かせいただきたい。

【当局答弁】

神戸空港のターミナルビルが航空機の利用のみならず、魅力あるコンテンツを持った施設となるような取り組みは重要な観点であると考えている。神戸空港の運営権者である関西エアポート神戸においては、3階のスペースを集客イベントや催し事も可能な空間に改修をしている。また、4階の屋上スペースでは、神戸空港でしか体験することができないミニチュアミュージアムの設置をしている。11月末から2月にかけてはウィンターイルミネーションを実施するなど様々な取り組みを行っている。引き続き、神戸空港のターミナルビルの魅力を高め、神戸のブランドを発信できるような取り組みを関西エアポート神戸と連携して進めていきたいと考えている。

【山本のりかず議員】

関西エアポート神戸と一緒に取り組んでいただき、神戸独自の魅力ある空港作りをしっかりとしていくことを要望したい。



経済港湾委員会としての活動報告(今年度は経済港湾委員長を拝命)

2023年度は、私事ですが経済港湾委員会において、経済港湾委員長を拝命致しました。神戸の経済を担ってきた先人や先輩達の想いを受け継ぎ、神戸経済の活性化に尽力してまいります。2024年春頃には、神戸ポートタワーがリニューアルオープンし、2024年5月には、神戸にて世界パラ陸上競技世界選手権大会が東アジアで初開催されます。さらに、2024年6月には、須磨海浜水族園が新たに開業します。2025年2月末には、神戸空港の新ターミナルが完成予定で、4月には国際チャーター便の就航が始まります。チャレンジする神戸の政策展開を図ってまいります。



経済港湾委員会において、マイクロソフト社の企業へのAI支援開発拠点(日本初で神戸に拠点)を視察



経済港湾委員長として、神戸みなと繁栄安全祈願祭に参加



経済港湾委員長として、神戸港湾勤労者の表彰式に参加

令和5年 決算特別委員会

●港湾局●

神戸空港の国際化を見据えた海外空港との連携を提案!

【山本のりかず議員】

神戸空港の国際化に向けて、2025年の国際チャーター便の運用開始や2030年頃には国際定期便の就航が予定されている。今後、関西国際空港と棲み分けをしつつ、神戸と東アジアや東南アジア間の旅客需要の創出とともに、関西経済圏の活性化に取り組んでいかなければならない。そこで、神戸空港に関して、東アジアや東南アジアの空港がある都市と、姉妹空港の提携を締結するなど、都市間連携により様々な取り組みを進めていくことを提案したい。



【当局答弁】

都市間連携というのは非常に重要だと思っており、海外諸都市等の関係の皆様と国際会議などのいろいろな場を通じて様々な交流や連携を進めていく、その中で都市間連携にしっかりと取り組み、航空需要を開拓していきたいと考えている。

【山本のりかず議員】

本年度、経済港湾委員会の視察で訪れた中部国際空港セントレアでは、ミュンヘン国際空港や台中国際空港、シアトル・タコマ国際空港、ダナン国際空港などと姉妹空港提携している。神戸空港においても、これまでの神戸の歴史を踏まえて、神戸経済の活性化に資する姉妹空港の提携を将来的に進めることを要望したい。

●経済観光局●

農業生産基盤の整備を着実に進めることを提案!

【山本のりかず議員】

神戸市内では、北区や西区を中心に多くのため池があり、地域の農業生産基盤として重要である一方、近年の台風大型化や豪雨などによる災害のリスクも抱えている。行政として、計画的に改修や廃止を進めているが、防災・減災対策として現状の取り組みを確認したい。



【当局答弁】

ため池関連法が整備され、万が一決壊した場合、人家等に影響が見込まれるため池というのは防災重点農業用ため池といい、市内に526か所ある。このうち定期的な点検の結果から対策の優先度の高いため池が32か所あり、現在、令和12年までの間に国庫補助を活用しながら整備着手する計画を立てている。防災・減災の観点から、安全・安心に市民の方が暮らしていただき、持続可能な農業を推進していただけるように、引き続き防災対策を計画的に進めていきたいと考えている。

【山本のりかず議員】

平成30年度7月豪雨や近年の台風や集中豪雨の被害があった際は、地域住民とともに現場を確認し、兵庫県や神戸市の職員とともに整備に取り組んできた。ため池の計画な整備は、神戸の農業を支えるだけでなく、市民の安全を守る重要な取り組みであるため、引き続き着実な取り組みを進めていくことを要望したい。

令和4年度：北区でのため池改修などの実績

八多町吉尾(奥の谷下池)、大沢町(下矢名池)、長尾町(上池)

令和5年度：北区でのため池改修などの進行中箇所

淡河町北畑：西谷池、淡河町勝雄(サザ池)、八多町屏風(頓行司池)

神戸市会議員ベトナム議員連盟で民間企業・行政とともにベトナム訪問

本年度は、日本とベトナムは国交を樹立して50年の節目にあたります。神戸市におけるベトナム人の人口は、外国人の中で人数的に第3位となっています。ベトナム議員連盟は、2023年11月に民間企業と神戸市職員幹部とともにハノイ、ハナム省、ハイフォン港、クアンニン省などを訪問しました。



ハナム省知事との意見交換



神戸港とMOU締結しているハイフォン港にて



ハナム省にて、知事とともに



ハナム省職業訓練学校にて



Cảm ơn sự đón tiếp trọng thị của lãnh đạo thành phố, ông Murano Seiichi, Chủ tịch Liên minh Hữu nghị Nhật Bản-Việt Nam Hội đồng thành phố Kobe, Đảng Dân chủ tự do cho biết, đây là lần đầu tiên các nghị sỹ tới thăm Việt Nam và mong muốn được ghé thăm Cảng Hải Phòng. Ông Murano Seiichi khẳng định chuyến thăm, làm việc tại thành phố Hải Phòng sẽ góp phần tăng cường mối quan hệ hợp tác hai nước nói chung, mối quan hệ giữa Nhật Bản và

神戸市会議員ベトナム議員連盟の活動が現地でのネット記事に掲載

議員報酬削減条例を提出し**否決**されました!

日本維新の会神戸市会議員団は、議員提出第5号議案「神戸市市会議員の議員報酬、費用弁償および期末手当に関する条例の一部を改正する条例」を提出いたしました。

自民党・公明党・こうべ未来（旧民主系）等その他無所属議員により**反対多数**で**否決**されてしまいました。今後も議員報酬削減を訴えてまいります。



提案説明はこちら▲



地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書に**反対**しました!

法整備されると税負担が神戸市で年間約**7000万円!**
日本全体で約**200億円!**
まずは**年金制度改革**を!



反対討論は▲こちら

自民党・公明党・こうべ未来等その他無所属議員により「地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を求める意見書」が提案されました。
日本維新の会は**反対**をしましたが、賛成多数で可決されました。

《**身を切る改革**を実行しました!》 令和5年分

20,096,372円を

石川県（令和5年7月大雨災害義援金）、
福島県（令和5年台風第13号災害義援金）
に寄付しました!!

徹底した行政改革を目指し、
まずは、政治家自らが**身を切る!**
身を切る改革は、日本維新の会神戸市会議員団が市民に約束した**最重要事項**です。公約である条例における**議員報酬削減の実現**に向けて、引き続き率先垂範してまいります。



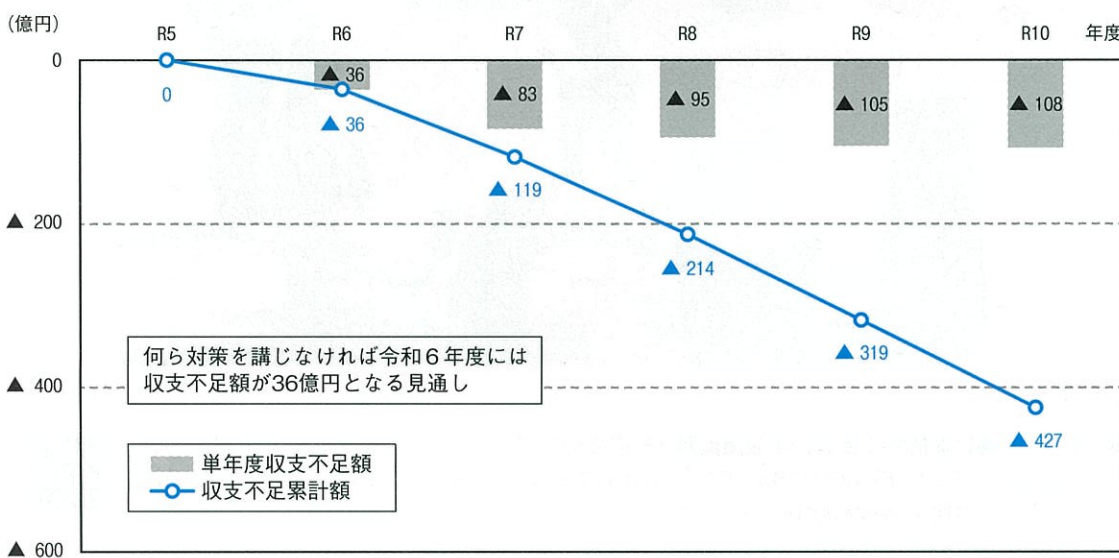
寄付の状況は▲こちら



財政の見通しを**チェック**し、**改革**を提言!

神戸市における少子超高齢化による人口推計と、社会保障関係費等の増大を考慮した前提条件のもとに試算すると、対策をしなければ来年度の予算編成では収支不足額が生じる見通しとなっています。厳しい時代を迎えている現代においては行財政改革を断行し、財源を確保していかなければなりません。行財政改革をしなければ市民に負担として税金面等で跳ね返る可能性があります。従って、改革を実行し、次世代の子どもたちの未来のために政策提案してまいります。

■今後の単年度収支不足額と収支不足累計額の推移 (令和5年2月公表)



あなたのお考えに当てはまるところに○をつけてください。

神戸市の現状に満足していますか?

- ①満足している ②ある程度満足している ③ふつう
④やや不満 ⑤不満(理由)

日本維新の会 神戸市会議員団に期待する点は? (複数可)

- ①神戸経済の活性化 ②議会・市役所の改革
③教育・子育て環境の充実 ④健康福祉の充実
⑤市民サービスの向上 ⑥情報公開の徹底
⑦その他()

日本維新の会 神戸市会議員団は、「身を切る改革」として議員各自が月額報酬(手取り額)の20%相当を被災地等に寄付しています。このような取り組みは神戸市会の会派において日本維新の会だけが実行していますが、皆さんはご存知ですか?

- ①知っている ②知らなかった
③その他()

あなたがお住まいの地区のお困りごとやご要望がありましたらお書きください。

例) 子育て支援について、支援強化など

ふりがな	
お名前	
ご住所	
電話番号	
FAX番号	
メールアドレス	

神戸経済の活性化と、 更なる改革で住み良いまちへ!

日本維新の会 神戸市議員団は、税の有効活用のため、行財政改革を断行し確保した財源で神戸経済の活性化を図り、子育て支援の充実や福祉・教育さらに市民サービスの向上を積極的に推進します。今年度決算についてもさまざまな要望をしてきました。ここでは、その一部をご紹介します。

※これまでの活動報告はこちら▶

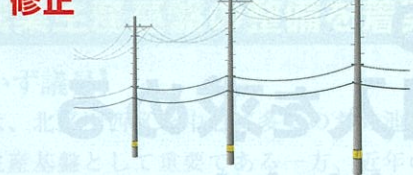


皆さまからの要望・意見にもお応えしています! 北区での地域活動実績

▶ 地域住民からの要望により、
道路停止線の改修



▶ 地域住民からの要望により、
カーブミラーの位置を
修正



▶ 地域住民からの要望により、
公園の雑草・枯葉などを除去



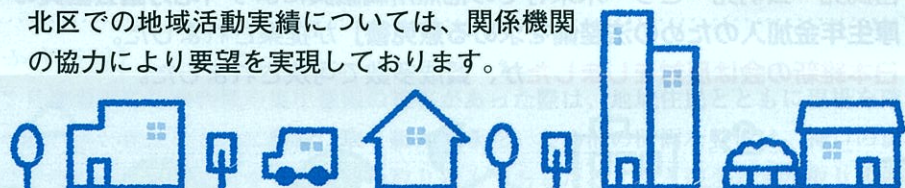
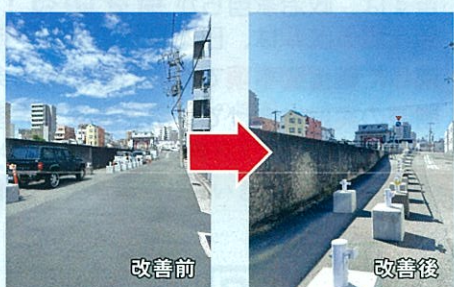
▶ 地域住民の安全・安心確保のため、
兵庫県神戸北警察署を訪問

兵庫県神戸北警察署にて警察関係者と
意見交換



北区での地域活動実績については、関係機関
の協力により要望を実現しております。

▶ 神戸市民からの要望により、
長年放置されてきた
不法駐車を撤去



身のまわりについて困りごと があればご相談ください!

神戸市の行政に関する意見や困りごとがあればメールまたは電話にてご連絡ください。例えば、道路が陥没していて危険だ! 公園の管理が行き届いていない! 子育ての支援について、こうして欲しい! 障がい者の雇用が充実していない、などの要望があれば、ご自宅や地域の集会所、喫茶店などでも伺います。神戸に住んで良かったと思える地域にしていくために、皆さんの意見を行政や議会に届けます。神戸市民の皆さんとともに、安全・安心の街づくりを構築してまいります。



切り取ってポストにご投函いただくか、メールまたはFAXでお送りください。

連絡先 ■日本維新の会 神戸市議員団:〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 1号館29階
TEL(078)322-0185 FAX(078)322-0184 メールアドレス:info@kobe-ishin.jp
http://www.kobe-ishin.jp



■山本のりかず広聴事務所:〒651-1243 神戸市北区山田町下谷上字梅木谷23番地16-208
TEL&FAX(078)907-5601

(切り取り線)

料金受取人払郵便

神戸中央局
承認

3845

差出有効期間
令和6年3月21日まで
(切手不要)

6 5 0 8 7 9 0

924

神戸市中央区加納町6丁目
5番1号1号館29階
日本維新の会
神戸市議員団行



(切り取り線)

※日本維新の会神戸市議員団へのご意見やご提案をお書きください。



2023年9月29日 こども家庭局へ質疑

三木しんじろう

神戸市 令和4年度決算に対して、決算特別委員会、会派を代表して総括質疑を行いましたので、質疑の一部を御紹介、御報告させていただきます。

子育て・教育関係について

のびのびと過ごすことができる学童保育について

令和4年度 決算特別委員会
こども家庭局 R5年9月29日



三木しんじろう 神戸市で多くの児童館で学童保育が行われている。学童保育は学校内で行い、伸び伸びと運動場とか体育館も利用して体を動かせるようにするべきではないかと思う。学校内での実施に関して、今後の展開は？

中山こども家庭局長 本市では、公設・民設で学童をやっており、公設の学童保育施設207か所のうち、71か所について小学校敷地内で実施をしており、利用者等が急増した場合、新たに整備する際には、学校内での実施場所の確保というのを第一に検討している。指摘のとおり、学校内で学童保育を行うことは移動がなく安全で運動場、体育館等、学校施設で利用できるというメリットがあると考えている。学校教育活動に支障のない限り、学校施設の利用を進めていきたい。

ICTを活用した事業と学習効果について

令和4年度 決算特別委員会
教育委員会 R5年10月2日

三木しんじろう 令和3年度より、1人1台の学習用パソコンを配備し「GIGAスクール構想」を進めているなか、ICT機器を活用した学校教育、学習効果についてどう分析しているのか？

2023年4月、小学校164校、中学校は84校の6年生と中学校3年生にアンケートをとり、「全国学力・学習状況調査」を行った。児童生徒と学校長のICT機器の使用頻度の数値が約倍の差が出ている結果となった。子ども達の意識と学校の意識が大きく異なっているのは大きな問題である。教育委員会はどのように考えているのか？

長田教育長 「全国学力・学習状況調査」の結果は指摘のとおり、活用の状況については深刻な問題であり、児童・生徒の情報活用能力を育成する趣旨、目的というものが、教職員の間に浸透しきれていなかったと考えている。

● 5年生まで受けた授業で、ICT機器を週3回以上使用したか？			
小学校6年生が回答	2022年度(小6)	神戸市 54.8%	全国平均 58.2%
	2023年度(小6)	神戸市 45.7%	全国平均 62.4%
● 児童生徒に対して、ICT機器を授業で週3回以上活用したか？			
学校長が回答	2022年度(小6)	神戸市 90.9%	全国平均 85.1%
	2023年度(小6)	神戸市 89.5%	全国平均 90.6%
● 1,2年生まで受けた授業で、ICT機器を週3回以上使用したか？			
中学校3年生が回答	2022年度(中3)	神戸市 42.2%	全国平均 50.9%
	2023年度(中3)	神戸市 44.3%	全国平均 61.1%
● 児童生徒に対して、ICT機器を授業で週3回以上活用したか？			
学校長が回答	2022年度(中3)	神戸市 85.4%	全国平均 81.2%
	2023年度(中3)	神戸市 88.1%	全国平均 86.7%

〔2023年度 全国学力・学習状況調査の結果について〕より

全ての学校長を対象にした研修会を行い、活用が進んでいない学校に事務局の指導主事が訪問し、活用の指導助言を行っており、各学校において学習用パソコンの活用指導計画を作成、授業実践する取組を進めている。児童・生徒と学校側の数値の乖離については、アンケート調査で現状把握し改善に役立てたいと思っている。これからの子供たちが情報活用能力をしっかりと身につけ、個別最適な学びと協働的な学びの両立をやっていくという中で、学習用パソコンの活用は非常に重要なテーマであり、力を入れて取り組んでいく。

デジタル教科書について

令和4年度 決算特別委員会
教育委員会 R5年10月2日

三木しんじろう デジタル教科書の活用については多くのメリットがあると思う。今後の導入スケジュール、保護者負担については、どうなっているのか？

田尾 教育委員会事務局担当部長 導入のスケジュールについては、来年度のデジタル教科書についての文科省の概算要求でも、来年度に英語は本格導入、今年度と同じように小学校5年生から6年生、中3までが全て導入される予定になっており、保護者負担はない。

また、算数・数学については、一部導入と概算要求となっており、今年度と同様に半数の学校に導入されるのか、割合については文科省の動向を注視してまいりたい。

自分のペースで反復練習ができる英語の音声機能など、授業中の活用は勿論、自主学習や家庭学習の活用も期待をしているところである。保護者に対しての発信なども含めて活用の促進を図って、学力向上に努めていきたい。



教育委員会 2023年10月2日

教育委員会の機能強化と活性化について

令和4年度決算 決算特別委員会
総括質疑 R5年10月10日

三木しんじろう 令和5年4月19日に文部科学省より、「令和日本型の学校教育を推進する地方行政の充実に向けて」の報告書が公表され、教育委員会の機能強化や活性化への方針が示されている。

市長と教育委員会が教育の課題やあるべき姿を共有し、相互に連携を図りながら効果的に教育行政を推進していくために設置されている「神戸市総合教育会議」について、令和4年度は1回のみ開催だった。

教育委員会と市長との連携、さらなる充実に向けて尋ねるが、令和4年度はいじめの重大事態事案が50件にも上り、ICTを活用した授業推進や学習効果の課題、教員の働き方改革やハラスメント問題、不登校問題など、教育現場には様々な課題が存在しており、課題に対して市長の考えを交えながらしっかりと議論を行い、改善へと進めていく必要がある。総合教育会議をより積極的に開催するべきと考えるが見解を伺う。

長田教育長 総合教育会議の開催状況について、令和4年度は、子供の居場所、今後の部活動を議題として1回の開催だった。

総合教育会議については、教育委員会にとって貴重な意見交換の場であり、その時々状況に応じて、重要なテーマについて市長部局と意見交換や調整を行いながら、総合教育会議における議論が一層活性化するよう努めていく。

教員と専門人材の確保について

令和4年度決算 決算特別委員会
総括質疑 R5年10月10日

三木しんじろう 教育現場で働く教員のための働き方改革を着実に進めていく上で、優秀な教員の採用と育成、さらに専門人材の参画は重要であり、教員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、ICTのサポートスタッフなどの確保を、さらに進めていく必要がある。一定の拡充はしているものの、まだまだ人員が不足しており、教員と専門人材の確保について、さらに進めるべきではないか？

長田教育長 教員については積極的な採用を行っており、指摘のあった専門人材の確保ということについては非常に重要である。今後も学校の状況を丁寧に把握しながら、現場の実態に即した運用や配置を工夫していくということによって、教員、児童生徒、保護者への支援の充実を図っていきたく考えている。多忙化対策については、持続的・継続的に業務改善に取り組んでいくことが必要であり、教員の勤務環境の改善とともに、指摘の専門人材の確保にも取り組んでまいりたい。

行財政について

行財政改革 2025 の効果について

令和4年度決算 決算特別委員会
総括質疑 R5年10月10日

三木しんじろう 神戸市は「行財政改革2025」を策定し、全庁業務のデジタル化、行財政改革を進めることで持続可能な行政サービスや新たな課題に取り組むための財源確保を実行している。

効果と進捗状況、現時点での課題点について、どうなっているのか？

久元市長 「行財政改革方針2025」は、スマート自治体の実現に向け、令和3年度から5年間の行政運営、財政運営を行うに当たっては、財政の健全性維持・生産年齢人口の減少を見据えた組織の最適化・区役所手続、来庁者数、行政手続のスマート化・働き方改革の定着という実施目標を定め、推進している。

今年度は計画期間中の中間年度となり実施目標の達成状況については、おおむね順調に進捗していると考えているが課題もある。職員の専門的な知識、ノウハウを組織としてさらに蓄積と継承を行う観点も重要であり、職員1人1人が主体的にやりがいを持って働くことが、行財政改革を遂行する上で重要な要素である。このため、新しい取組に果敢にチャレンジできる風土を醸成、職員同士が積極的に交流し、部署の垣根を越えたコミュニケーションを活性化するというところに現在取り組んでいるところである。職員が前向きに仕事に取り組んでいくことができるような風土の醸成に努めていきたい。



総括質疑 2023年10月10日

身を切る改革について

令和5年の実績

「身を切る改革」は、日本維新の会が国民に約束した最重要事項であり、我々、日本維新の会 神戸市会議員団は、議員報酬(手取り額)の2割に相当する金額を各所属議員が被災地等へ寄付しております。

●石川県(令和5年7月大雨災害義援金)
●福島県(令和5年台風第13号災害義援金)
日本維新の会 神戸市会議員団で令和5年は、**20,096,372円を寄付**いたしましたことを御報告申し上げます。

行政委員報酬の日額への変更について

令和4年度決算 決算特別委員会
総括質疑 R5年10月10日

三木しんじろう 神戸市では教育委員会、人事委員会、監査委員会、選挙管理委員会、農業委員会と固定資産評価審査会といった行政委員会のほか、数多くの審議会など附属機関等が設置されている。神戸市は行財政改革に取り組んでいる観点、市民に理解されやすい制度とするために、行政委員の報酬は月額報酬から日額報酬へと改正するべきではないか？

今西副市長 行政委員の報酬について、本市では特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例において、教育委員会委員、人事委員会委員、監査委員、選挙管理委員、農業委員会委員の報酬については月額で定め支給をしている。これは、委員会への出席日数や時間等の実働時間だけではなく、各行政委員会の業務内容、登庁日以外の委員としての職務、法的責任を負うとともに政治的な公平公正を担保しなければならないという行政委員の立場、一定の身分上の制限があること、人材確保の観点などを踏まえたものであり、月額報酬で支給することが適当であると考えている。

三木しんじろう 政令市20市の状況を見ると日額報酬制を導入している都市があり、導入により問題は生じておらず、行政委員に関しては、明らかに開催日数が少なく、月額報酬とは合わないと感じる。附属機関への費用対効果と時間帯の効果の検証、オンラインの活用も選択できるなど今後、検討いただきたい。

まちづくりについて

サンキタ広場・サンキタ通りのゴミ、路上駐車の問題について

令和4年度決算 決算特別委員会総括質疑 R5年10月10日

三木しんじろう サンキタ通りのゴミ問題に関しては、通行人が捨てるゴミや飲食店事業者が夕方から置いているゴミがある。また、周辺には多くの客引きがいる状況であり、これらは大きな問題であると考えている。加えて、フラワーロードの路上駐車では東遊園地の前には絶えずバスや一般車両が止まっており、磯上公園付近では、自転車専用レーンにも車が路上駐車している状況である。こうした、ゴミ問題や路上駐車の問題を早期解決する必要があると考えるが見解を伺う。

今西副市長 サンキタの環境美化の問題については、指摘いただいた汚れやゴミ問題について、地域と連携しながら順次対策を実施している。今後、専用の敷材を用いた特別清掃も実施をする必要があり、ゴミ捨てるルールをのさらなる周知徹底を図るとともに、他都市における美化対策の先進事例も参考にしながら、美化活動を充実させていきたい。フラワーロードの駐車場の問題については、再整備に合わせ、路上駐車車両が本線を通行する車両に影響しないように、一部歩道を切り込んで、必要な荷さばきスペースやバス停留所を確保する。自転車レーンへの駐車への課題については、自転車走行環境の整備形態を、車道内に整備する自転車レーンではなく、車道と構造的に区分し駐車車両が物理的に入れない道路形態としていきたいと考えている。また、三宮への寄りつきなどの駐車車両への対応については、JR西日本が停車需要を調査の上、JR三ノ宮駅の南側広場で必要な駐車スペースを確保する計画である。今後、環境美化、交通対策に配慮しながら整備を着実に進めてまいりたい。

神戸空港国際化によるプロモーションについて

令和4年度決算 決算特別委員会
総括質疑 R5年10月10日

三木しんじろう 今後、国内線の増便、そして神戸空港の国際化に当たっては、神戸空港の利用を促すためにも、プロモーションを加速させていくことが重要である。特に神戸以西の地域からの利用者に対して、神戸空港からどこの国や都市に渡航することが可能かを発信していくことが重要であり、渡航先が決定すれば、その国や都市とも連携したプロモーションを行うなど、神戸空港がより一層利用されるような取組を進めてはどうか？

久元市長 神戸以西の地域における取組については、神戸空港の機能の拡大や国際チャーター便の就航、全国に就航都市を擁する利便性の高い空港であることなど積極的にプロモーションを行っているところである。今後、国際チャーター便の誘致を着実に進めるとともに、就航先と連携したプロモーションを積極的に進め、観光需要やビジネス交流などが進み、双方向の需要が高まることで、エアラインによる路線の維持・拡大につながり、神戸空港のより一層の発展につなげていく取組を行う。神戸空港の国内線発着枠の拡大や国際化に向けて、神戸空港の利用促進に積極的に取り組んでまいりたい。

区役所の権限強化について

令和4年度決算 決算特別委員会
総括質疑 R5年10月10日

三木しんじろう 人口減少における都市間競争の中でも、神戸市が暮らしやすく、そして選ばれるまちになることが重要である。同時に、神戸市内でも各区がそれぞれの地域に応じた取組を行い、各区の間でも良い競争が生まれるべきだと考えている。同じ市内でも区によって地形や風土、人口減少率や子供の数など様々な差異があり、それぞれ特色に応じた取組が必要ではないのか。各区に配分する予算を増やし、区長は充て職にせず権限を上げ、地域ニーズに合った新たな成果を上げるためにチャレンジし、各区が自発的にその地域に合った取組を進めていくべきではないか？



総括質疑 2023年10月10日

小原副市長 区役所に求められる役割については、市民個人に対するサービス提供、まちづくりの推進に大別されると考えている。まちづくりの推進に関しては、それぞれの区における地域課題が異なるため、区長がリーダーシップを発揮し、区役所がその地域に合った取組をしていくことが重要であると考えている。区の独自予算については、区の個性を伸ばすまちづくり事業予算として、区の地域の特性に応じ、区民との協働によるまちづくりの推進などを目的に、各区に配分し、各区の実情を踏まえた対応ができるよう、必要な予算確保に努める。区長権限については、区に所在する各局の事業所、例えば建設事務所、消防署、環境局事業所等だが、その長を区に兼務、併任発令することで、連携強化を図るなど、課題の共有、解決に向けた協力体制を確保している。各区役所が主体的にその地域に合った取組を進めるための予算の確保や、区長権限の在り方については、今後も現場の声を聞きながら検討していきたいと考えている。一方で、地域課題が多様化・複雑化する中で、各区役所の主体的な取組の実効性を高めるためには、本庁と区役所が適切に役割分担し、十分に連携することがこれまで以上に重要になってきていると感じている。引き続き区役所と本庁が同じ方向性の下、地域課題の解決に取り組み、選ばれるまちとして地域の個性を生かしたさらなる市民サービスの向上に努めてまいりたい。

議案・意見書について

「議員報酬削減条例の議案」を提出しました。(議員の報酬を下げる提案)

神戸市市会議員の議員報酬、費用弁償および期末手当に関する条例の一部を改正する条例の提案説明を致しました(2023年10月)。



本会議 2023年10月23日

日本維新の会神戸市会議員団より議員提出第5号議案「神戸市市会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例の件」を提出しましたが、反対多数で否決となりました。現在、神戸市の人口は150万人を割り込み、人口規模・予算規模ともに全国で7番目であるにも関わらず、神戸市会議員の議員報酬は全国の政令市の中で、人口規模が国内最大の横浜市に次いで2番目に高額であります。言うまでもなく議員報酬の原資は市民の皆様から納めていただいた大切な税金であり、原油高・物価高騰など経済的な困難に直面している市民に将来的な負担の増加を強いることがないように、行財政改革の推進、議員報酬削減・議員定数削減を進めるなど無駄を省き、財源を生み出すべきであると考えます。



詳しくはこちら

「地方議会議員の厚生年金へ加入を求める意見書」に対して 反対しました。

地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を求める意見書に反対討論を致しました(2023年10月)。

自民党、公明党、こうべ未来の会派等から議員提出第6号議案「地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を求める意見書」が提出され、日本維新の会神戸市会議員団より反対討論をいたしました。法整備されると、税負担が神戸市で、年間約7000万円、日本全体で、約200億円が見込まれます。地方議会議員自らが、議員特権と批判され、既に廃止された地方議会議員年金制度を代替するような厚生年金加入は、到底国民の理解を得られるものではありません。個人事業主など多くの国民は国民年金に加入しており、地方議会議員を厚遇する必要はなく、同様の条件で良いのです。地方議会議員を特別に処遇するような、地方議会議員の厚生年金加入については、断固反対しました!



詳しくはこちら

「議員が自らの期末手当(ボーナス)を引き上げる議員提出議案」に対して 反対しました。

議員提出第8号議案「神戸市市会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例」に対して反対討論を致しました(2023年12月)。

自民党、公明党、こうべ未来の会派より提出された本議案は、神戸市会議員の期末手当を増額するものです。今後、超高齢化社会の進展に伴う扶助費の増大により、神戸市の財政収支は一層厳しくなる状況になると予想されます。全国の政令市の中で横浜市について2番目に高額である議員報酬を受け取っている神戸市会議員の期末手当を、さらに増額させることは理解できるものではありません。国会でも議員の期末手当の増額に関する議論が巻き起こっており、神戸市においては実質賃金の上昇、さらなる行財政改革を推進し、市民生活を改善・向上させていくことが最優先であります。根本的な振り返りと検証のないまま、議員が自らの期末手当を引き上げることは、日本維新の会としては本議案に反対しました。



詳しくはこちら